

令和3年1月13日

保護者の皆様

郡山市立富田中学校長 横田 勝秋

### 学校における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底について

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症予防対策をはじめ、日頃の教育活動の充実のためにご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、郡山市教育委員会より、福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議において、県内の感染状況が「ステージⅢ」相当であるとされたことから、福島県教育委員会では「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準における対応を“レベル2”に引き上げるとの通知がありました。

つきましては、本校教育活動を下記の通り実施してまいります。引き続き保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

### 記

1 対象期間 令和3年1月14日（木）から同年2月7日（日）まで

※ 終了期日が変更となる際は、改めて通知します。

2 対象期間における対応

- (1) 感染リスクの高い学習活動（部活動において実施する場合を含む）については停止する。＊裏面参照
- (2) 緊急事態宣言対象地域（今後追加される地域も含む。以下同じ。）への不要不急の往来は自粛する。
- (3) 入試や就職試験、各種全国大会等やむを得ない事情により緊急事態宣言対象地域へ往来する場合は、往来後2週間の健康観察を徹底する。
- (4) 宿泊を伴う学校行事、合宿、遠征等は停止する。ただし、全国大会、東北大会及び県大会での宿泊は可能とする。
- (5) 部活動等における感染症対策について
  - ① 感染リスクの高い活動を除いて実施する。
  - ② 活動前後に児童生徒同士で食事をすることは控えるよう指導する。
  - ③ 他校との練習試合や合同練習会は停止する。
- (6) 学校内における感染症対策について
  - ① 健康観察の徹底
    - ・ 登校前の検温等や登校後における健康観察を徹底する。
    - ・ 児童生徒等の同居する家族に発熱等の症状が見られる場合も出席停止の措置をとる。
  - ② 給食・昼食時の対応
    - 飛沫を飛ばさないよう、対面にしない、大声での会話を控える等を徹底し、食事後の歓談時には必ずマスクを着用する。
  - ③ 換気・清掃等の徹底
    - 冬季においても換気を行い、日々の清掃活動を徹底する。
  - ④ 差別・偏見・中傷の防止
    - 感染者や濃厚接触者について、差別・偏見や中傷を防止するための啓発を図る。
- (7) 学校外における感染症対策について
  - 次の点について児童生徒へ指導するとともに、保護者へ協力を依頼する。
  - ① 児童生徒同士の会食やマスクを外しての会話など感染リスクの高い行動を自粛する。
  - ② 不要不急の外出や外泊などを自粛する。

(担当：教頭 高橋 宏信 TEL938-7521)

## 「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数での 感染リスクの低い活動 で短時間での活動に 限定
レベル2	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	収束局面 ↓ 感染リスク の低い活動 から徐々に 実施	↑ 感染リス クの高い 活動を 停止
レベル1	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	適切な感染対策を行った 上で実施	十分な感染対策を行 った上で実施

### 【感染リスクの高い学習活動】

#### 1 各教科等について

各教科における「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」として、以下のような活動が挙げられます。

- 各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
- 音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
- 家庭、技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」
- 体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」  
<レベル2地域>

上記の活動は、可能な限り感染症対策を行った上で、実施します。すなわち、これらの活動における、生徒の「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」について、可能なものは避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなどして実施します。

その際には、できるだけ個人の教材教具を使用し、児童生徒同士の貸し借りはしない。器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の手洗いを行わせる。

体育の授業におけるマスクの着用については必要ありませんが、体育の授業における感染リスクを避けるためには、生徒の間隔を十分確保する。

#### 2 部活動について

地域の感染状況に応じて以下の通り取り組みます。

<レベル2地域>

可能な限り感染症対策を行った上で、実施します。密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向かい合っで発声したりする活動の実施は慎重に実施する。